

マテリアルデータに関する 企業間連携の取組検討について



公益社団法人新化学技術推進協会

企業間データ連携準備WG

2022年2月3日

背景・経緯・検討スケジュール

(第6回マテリアル戦略有識者会議(2021.6.22)説明資料再掲)

◆ 背景・経緯

- ✓ JACIでは、2019年より、素材・材料開発におけるマテリアルズ・インフォティクス(MI)の重要性を鑑み、MIに関する国内外動向や諸課題を議論する場として、MI推進WGを立上げ、活動を開始している。
- ✓ さらに昨年からは、企画運営会議の場にて、政府でのマテリアル戦略に関する検討状況もフォローし、議論をしてきている。
- ✓ その過程において、今後の素材産業の競争力強化の視点で、企業が有する守秘データの連携(データ取引)やパブリックデータの利活用といった企業間でのデータ流通(データ連携)促進の重要性を認識。
- ✓ 企業間でのデータ連携に関しては、総論賛成だが、各論(個別論:具体的なルール等)の議論に踏み込めていない。業界内で、このような議論を展開している場はなく、JACIとして、技術論よりも、もう一段高い視座で、企業間のデータ連携に関する議論の場を設置することとした。

◆ 検討スケジュール

- ✓ WG検討開始: 2021年7月19日 (化学系企業17社が参加。1回／1.5か月でWGを開催)
- ✓ 中間報告: 2021年12月6日
- ✓ 最終報告: 2022年3月18日 (具体的な取り組みに向けた「提言」の取りまとめ)

「提言」の討議プロセス(検討サブWGの設計)

企業間データ連携のインセンティブ設計

- ・データ取引、インセンティブに関する基本的考え方
- 考え得る取引パターン、Pros & Cons整理
- 出す側、買う側、運営側の具体インセンティブ
- ・データ対価イメージの具体想定
- ・データ取引活性化に向けた課題・ニーズ整理

対象とする企業間取引データ検討

- ・企業間取引データ対象(初期)
- 企業が買いたいデータ(価値基準)
- 企業が出せるデータ(価値基準、現実)
- ・データカタログのフォーマット
- ・カタログ化、クレンジングに関する課題(含、技術課題)・ニーズ整理

データ連携の仕組み・ルール検討

- ・データ連携・流通の仕組み、取引ルールに関する基本的考え方
- 他業界のデータ連携、流通ルール調査
- 知財権や他の法令との関係性の整理
- ・Hub会社の自立かつ持続的な運営に向けた課題整理
- ・公正なデータ取引に向けた課題(含、技術課題)・ニーズ整理

企業でのパブリックデータ利活用(連携)での課題整理

- ・パブリックデータの対象(初期)
- アカデミアのデータPF／国研／特許／論文(出版社)
- ・パブリックデータ連携に向けた課題・ニーズ整理
- 産業界としての望ましい利用契約の在り方

【提言①】企業間データ連携・流通に関する仕組みの概念設計

- ・企業間データ連携・流通の仕組み、取引ルールの概略
- ・データ取引対象(初期)
- ・データを出す企業が得られるインセンティブ
- ・知的財産に関するルール
- ・化学産業以外の業種(川下)に対する防波堤の具体策、等

【提言②】データ流通Hub会社の役割、運営に関する概念設計

- ・Hub会社の事業活動
- ・Hub会社の運営母体
- ・運営に参画する企業が得られるインセンティブ、等

【提言③】政府などへの要望

- ・データ流通Hub会社設置に向けた支援・要望
- ・パブリックデータ連携に向けた支援・要望
- ・特許のデータPF構築に向けた支援・要望
- ・国プロ等で技術開発すべきテーマ、等

検討状況

	中間報告時点での状況	提言に向けた今後の検討課題
企業間データ連携のインセンティブ設計	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な取引の目的を想定しながら、データ連携における利便性とリスクをマッピング。 	<ul style="list-style-type: none"> 他SWGと連携し、データ連携の障害となる負のインセンティブを最小化し、正のインセンティブを最大化するような枠組みの可能性を検討する。
対象とする企業間取引データ検討	<ul style="list-style-type: none"> 取引対象データの考え方、データ取引にあたっての価値基準の考え方を整理。 データカタログのイメージを具体化。 	<ul style="list-style-type: none"> データカタログの精緻化検討を進める。
データ連携の仕組み・ルール検討	<ul style="list-style-type: none"> データ連携における、るべき全体像の仮説を、機能とプレイヤーで整理。具体的な取り組みを進めるにあたり、Small startによるPoCを実施することを想定。 	<ul style="list-style-type: none"> Small Startをする際の課題、具体的な検討項目を整理する。
企業でのパブリックデータ利活用(連携)での課題整理	<ul style="list-style-type: none"> パブリックデータ連携に必要な機能と課題の整理を開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー(企業)視点でのニーズ(必要な機能)と課題を精査し、パブリックデータ連携においてHub機能で成すべき役割を整理する。

今後の進め方

今後の進め方

● 企業データ

- ✓ 企業間データ連携実施に向けた**方向性(「提言」)の取りまとめ**(～2022年3月)
- ✓ 「提言」をベースとして、**企業間データ連携の具体的な取り組みの推進**(2022年4月～)
 - データ連携の**Small Start(PoC)**に向けた準備(より具体的な仕組み・ルールなどの議論)
 - **Small Start(PoC)**の開始とそれを通じた**データ連携の取り組みの充実と拡大、見直し**
(2022年4月以降の具体的な検討体制は、これから議論の上、「提言」に織り込む予定)

● パブリックデータ

- ✓ 「提言」での内容について、**関係各所との対話の可能性を探る**
(具体的な”関係各所との対話の仕方”は、「提言」の取りまとめにむけて、議論していく予定)